

きらめく まちビト

× いちかわりく

仕事も遊びも、ドキドキとワクワクを
名寄市の圧巻の自然環境で、自ら楽しみを見つける

Profile

札幌育ちのクリエイター・市川 陸 (いちかわ りく)

日本最北端のブルーベリー観光農園「サンベリーむらおか」
その敷地内にある大きな倉庫が市川さんのアトリエです。



クリエイター市川 陸さんに
インタビューして頂きました

市川さんはこれまでプロカメラマンや林業の技術を学ぶなどの活動をしていましたが、2022年の秋、小樽から名寄に拠点を移しました。現在は木製家具や什器の制作、内装、造園、伐採、アトスクール講師など、「木」と「アート」に関する多彩な活動をしています。駅前交流プラザ「よろーな」内にあるなよろ観光まちづくり協会のカウンターも、制作物のひとつです。名寄の森で見られる8種類の広葉樹の板を魚のうろこ模様に貼り、名寄の豊かな自然を表現しています。

一番の趣味は釣りで、釣りが日常にある暮らしを叶えたくて名寄に引っ越したと言っても過言ではありません。仕事の合間を縫って、さまざまなフィールドで釣りを楽しんでいます。

「一人でやっているの、そもそも休日ってあつて無いようなものなのですが、仕事もあるし、ブルーベリー園もあるし、趣味もいろいろあるから、なんだかんだいっつも動いていますね。朝から釣りに行って、それから仕事をやるなんてのも普通。

いろいろなものが日常に混じっている感じですが、そんなことを出来るのも、名寄だからでしょうね」と名寄での暮らしを教えてくださいました。

遊びの話題をする市川さんの表情はとても豊かです。

とはいえ、名寄の厳しい自然条件は、誰もが肯定的に受け入れられるものでもありません。

名寄の印象と楽しみ方を伺いました。

「名寄は、街的な要素はコンパクトにまとまっていて暮らしやすいですが、やはり断然、自然環境の魅力が大きいですよ。だから、自然の中での楽しみ方を見つけられる人なら、ここを十



毎日がドキドキ、ワクワク。
名寄での釣りが日常にある暮らし

名寄市はクリエイターの
移住を応援しています

名寄 クリエイティブ 検索



インタビュー全文は
左のコードを読み取り
ご覧ください

二分に活用できるんじゃないかな。あと、本州だと誰も来たことがないだろう秘密の場所ってなかなか無いと思うのですが、名寄ならそういうスポットをあちこちに見つけられるんですね。そういう発見の喜びを持って人も、名寄の暮らしを楽しめると思います。もちろん、釣り好きの人には絶対におすすめですよ。天塩川のように太い川もあれば溪流もあって、1時間ちよつとでオホーツク海にも日本海側も出られるから、両方の海で海釣りができて、朱鞠内湖もすぐ近くにあつて、すぐドキドキするし、ロマンがあつて、釣り好きには夢のようなところだと思います」と教えてくださいました。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。